

【直方人権擁護委員協議会】

令和6年11月6日、宮若市の宮若南幼稚園において園児30人を対象に、人権擁護委員が紙しばいを使用した人権教室を実施しました。大型紙しばい『おおきなかぶ』では園児から「うんとこしょ！どっこいしょ！」の大きなかけ声がかかり、続く『ぐらぐらもりのおばけ』では「世界を幸せに」の音楽に合わせて委員と一緒にダンスをしました。最後は、動物のペープサートを使ったオリジナル劇『みんななかよく』を披露し、いじめや仲間はずれをせず、みんな仲良く一緒に遊ぼうね、と呼びかけました。園児からは、ダンスが楽しかった、オリジナル劇が面白かったなどの意見があり、人KENまもる君・あゆみちゃんの名前もしっかり覚えてもらえた人権教室となりました。



【直方人権擁護委員協議会】

令和6年7月29日～8月9日にかけて、直方市内4か所の児童クラブにおいて1～6年生を対象とした人権教室を実施しました。人権の定義、権利の重要性を説明し、紙芝居「白い魚とサメの子」、DVD「考えよう！いじめ」を視聴し、「元気に仲良く、いじめのない楽しい夏休みを過ごすためにはお互いの存在や意見を認め合うことが大切です。まずは周りのお友達の良いところを見つけましょう。」と人権擁護委員から話があると、児童たちは元気に「はい！」と答えていました。



【直方人権擁護委員協議会】

令和6年7月17日、直方市立植木小学校において3年生48人を対象に、ひまわりの経過観察及び人権教室を実施しました。ひまわりの生育記録を確認し、人権週間入選作品集から「わたしのゆう気」を教材に、気づく・考える・行動するという人権学習のプロセスに触れ、相手の立場や気持ちになって考え、行動することの大切さについて学び、最後に、2メートル以上に成長したひまわりを背に、ウオークバルーン「人KENまもる君」と一緒に、笑顔で記念撮影をしました。

